

五十嵐渉（新潟県歯科技工士会） 演題『カービングの基礎と応用』

歯型彫刻は歯牙形態を理解するのに有効であるが、目的を理解し、意識しなければその効果は少ないと考える。

本講では、歯型彫刻の際に重要となる①歯牙形態の捉え方、②発育の観点から見た解剖学的特徴③模倣の勘所について、実習を交えて説明する。

また、私なりのカービングテクニックの臨床現場での活かし方について解説する。

佐藤大介（新潟県歯科技工士会） 演題『全部床義歯における人工歯排列の基礎知識』

高齢化が進む現代において、義歯のニーズは依然として高く、今後もその重要性は増して行くと考えられます。

歯冠修復分野の歯型彫刻技術に加えて、全部床義歯の人工歯排列と咬合の与え方を学ぶことで、全顎的な視点を獲得することができます。

人工歯排列において、ランドマークを基準とした排列は、インプラントブリッジやロングスパンのブリッジの排列ポジションに応用でき、全部床義歯の咬合関係を理解することで、顎運動に準じた咬合面形態の設計が可能となるでしょう。

そこで今回は、人工歯排列の基礎知識と咬合様式について整理し、実際に人工歯排列デモを行うことで全部床義歯における排列ポジションと側方運動及び、咬合面形態の考え方を解説したい。

本間賢司（新潟県歯科技工士会） 演題『カービング技術の活用例と重要性』

近年、歯科業界ではデジタル技術の進化が著しく、CAD/CAMや3Dプリンターといったツールが臨床や技工の現場に普及しつつあります。しかし、デジタルがどれほど進化しても、アナログ技術が完全に不要になることはありません。中でもカービング技術は、歯の形態や咬合に対する理解を深めるうえで非常に有用であり、私自身の臨床経験においても欠かせない要素となっています。本セミナーには毎年参加しており、基本技術の再確認や技術力の向上に大きく寄与しています。本発表では、私の臨床現場におけるカービング技術の活用例と、その学びの重要性についてご紹介します。